

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら「たいよう」		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 17日	～	令和 7年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 20人	(回答者数)	14人
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 17日	～	令和7年 2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基礎となる体の使い方を一人ひとりに合わせた方法で取り組む。	本人に伝わりやすい方法での関わり方を意識し、能力の成長も大切にしているが、基礎となる土台(身体の使い方、物の使い方)などをしっかりと習得できるように取り組んでいます。	スモールステップを意識して、長い目で子どもたちの成長を観察し、できるようになった事を大いに褒めて次の成長へと繋げる。
2	一人ひとりの特性を把握し、その時に応じた支援方法を家族様や学校と共有しながら取り組む。	個々の強みや弱みをできるだけ把握し、成長したことや普段の様子を家族様と共有し、統一した支援を行えるように意識しています。	本人の課題点をより細かく分析し、その時の自己主張や思いを上手に汲み取れるようになる。
3	幅広い年齢の人と関わりを持てる。	たくさんの人(友達・大人)と関わる機会があるので、思いが通らなかつたり、問題の解決方法や小さなことへの喜び、様々な刺激を受けることができます。	固執した関わり方を改め、様々な角度から刺激を感じて、自らの成長へと繋がられるようになる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幅広い障がい特性の利用者が利用されているため、日々のプログラムの内容が難しいのが課題である。	会話での意思疎通が難しい利用者も多いため、ジェスチャーや見本を見せるなどの伝え方が難しいと感じているため、反復の活動を意識している。	プログラム内容を再度工夫して、同じ内容の中でも、子どもに合わせたやり方や難易度を変えて、事業所として同じねらいを持って活動に取り組む。
2	緊急時の対応、防犯対策、感染症対策などに関する各種マニュアルの周知を図る。	事業所の職員はマニュアルを理解し周知しているが、保護者様への情報提供が不十分である。	職員に加え、保護者の皆様にも各マニュアルの周知を図っていく。
3	家族様とのコミュニケーションを大切にしているが、不十分であるといった、ご意見があった。	指導員全員が、その日行った内容だけでなく、細かな様子や子どもたちの反応や日々の変化などをより細かく伝えられるようになる。	職員全体で情報共有を行い、顔を合わせる送迎時だけでなく、面談などの声掛けをしていく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	5		少し広さが足りないようにも感じる。動き回るのには十分な広さなのか。	部屋の広さに関しましては規定に沿った広さになっております
	2 職員の配置数は適切であるか	7	6	1		規定に基づき適切な人員を配置しています
	3 事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせ、適切に配慮がなされているか	10	4			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、連携を取った上で、 <u>個別支援計画*1</u> が作成されているか	14				
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	14			外出する活動が少ないので、もう少しあっていいかなと思う。	十分な安全性と活動時間、支援体制を考慮し、プログラムを考案させていただきます。
保護者 への 説明等	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				
	7 日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	13	1		職員さんによって、その日あった事を丁寧に分かりやすくお話して下さる方とそうではない方との差は感じます。	全指導員が改めて、細かな詳細を伝えられるように声掛けをしていきます。
	8 保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	13	1			
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	5			当法人のホームページにおいて情報公開をさせて頂いております。
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1			
	11 定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	1		当法人のホームページにおいて情報公開をさせて頂いております。
12 個人情報に十分注意しているか	13	1				
非常時 等の 対応	13 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	11	2	1	爪の長い職員の方が誤飲などがあった時に対応できないと思うので、短くしてほしい。	今一度身だしなみや危険性がないかなどを確認して、支援に努めています。
	14 非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他 <u>必要な訓練*4</u> が行われているか	9	4	1	避難訓練などを行っているのが気になる。	年に2回避難訓練を行い、避難場所までの経路確認を利用者様と一緒に進めています。また、保護者様への確認も定期的に行ってまいります。
満足 度	15 子どもは通所を楽しみにしているか	10	4			
	16 事業所の支援に満足しているか	12	2		行動援護をもっと有効的に使いたい。	行動援護につきましては、デイケアセンターの管轄となってしまいますので、ご了承下さい。

従業員向け 放課後等デイサービス評価表

ファミリーサポートかしはら たいよう

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			規定に沿った部屋の広さになっています。また部屋ごとに活動内容区別化して、取り組んでいます。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			定められている、規定人数の配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	5			活動をしながらかついた点があればその都度改善と修正を行っています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			職員同士での会話（コミュニケーション）を多く取り、その日の振り返りや情報共有を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			ご指摘やご感想をいただいた点を参考にし、できる限り家族様の意見にも寄り添いながら活動しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			様々な研修に参加し、得た内容を事業所に持ち帰ってその他の職員に研修をしています。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			半年に1回の期間で家族様からの聞き取りを行い、家庭での状況などを踏まえて個別支援計画を作成しています。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			送迎時などに学校の先生や家族様と話しをして、統一した支援を心がけて取り組んでいます。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			各々の得意分野や経験から得た引き出しを出し合い、子どもたちに合った活動内容を考案しています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			
適切	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎朝のミーティングでその日取り組む業務内容を確認し合い、優先順位などを決めています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
あな 支 援 の 提 供	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			送迎終了時にその日の振り返りを行い、情報共有をしています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5			五療育に基づいてプログラム活動を行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			その時の状況を把握し、日々最善の対応をしています。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			移行支援として、各事業所と情報共有を行い、家族様からも聞き取りなどを行っています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			関連機関には情報の引継ぎを行っています。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5		状況によって、機会やタイミングがあれば参加はするが、現時点ではそのような機会がないのが現状です。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			その日の出来事や本人の課題点や強み、成長してきた点など、気付いた事があれば家族様にお伝えするようにしています。
27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5			お子様との関わり方や過ごし方など、相談があれば、随時対応させていただいています。	
保	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に担当の者から説明をさせていただいています。また送迎時などに支援内容などはお伝えしています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			面談・電話・送迎時など随時受け付けています。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
護者への説明責任等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			貴重なご意見を参考にし、事業所内での状況も踏まえて、できる限りご希望に添えるように対応しています。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			毎月の活動内容をチラシとして配布し、子どもたちの様子や事業所での出来事などを掲示しています。
	32	個人情報に十分注意しているか	5			関係者のみ閲覧できる場所に保管し、漏洩することのないように管理しています。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			できる限り家族様の気持ちに寄り添いながら、事業所内でできることをお伝えしています。
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		事業所内でマニュアルを保管しているが、家族様には全て周知できている状況ではありません。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			定期的に避難訓練を行い、チラシや訓練を行った日に家族様に伝えるようにしています。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待・感染症・身体拘束の担当者を選出し、定期的に職員全体での研修会を行っています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		5		必要な場合は、家族様に説明及び了解を得る手順を行うが、現在それらが必要な利用者が在籍していません。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			アレルギー診断を受けた場合や服薬があった場合には、指示書をいただき、事業所内で対応しています。
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	5			事案があった時には、記録し共有しています。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら 「銀河」		
○保護者評価実施期間	2025年1月17日		2025年2月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 27人	(回答者数)	16人
○従業者評価実施期間	2025年1月12日		2025年2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援に特化したプログラム	元教員の指導の下、学年に応じた学習支援ができています。学校から出ている宿題や家族様への聴き取りを行い、それぞれの利用者の学習状況に応じた個別学習を行っている。職員がそれぞれの利用者の学習状況を周知し、国語、算数、英語、社会の課題を用意している。	今後、さらに学習支援への参加者の増加や要望が高まっていくと予想される為、状況に併せて学校への聴き取りを行い本人の強みを伸ばす、苦手を克服する、個別学習の機会を促していく。
2	利用している学年が小学校4年生～6年生となっており、学習面の課題、生活動作における課題、社会性の課題と似通った課題をもっている利用者が大半の為、課題を絞った取り組みができています。	同じ学校や学年でのグループ分けをしながら、学習面、社交性、運動面、生活面に分けてプログラムを行っている。会話が一方通行になりやすい、状況の理解が難しい。運動が得意、勉強が苦手などそのプログラムに応じた個別グループを作り、取り組むことでそれぞれの利用者の理解を促している。	今後においてはその個別グループを障がい特性に応じて、さらに細かくわけていくことでグループ単位でのプログラムの集中力を高めていくようにする。 また、ご家族様から生活面、社会性の課題に取り組んでほしいというニーズに応える為、状況に応じた社会見学などのプログラムを行っていく。
3	家族様の相談や緊急対応など、家族様のサポートが手厚い。	家族様との定期的な面談や聴き取りを行うようにしており家族様の状況の変化に合わせ支援時間の変更やサービスを行うようにしている。 特に年齢に合わせた悩み、留守番や異性との関係性についての相談も多くあり、ご家族様と密な情報の共有を行っている。	今後も利用者についてのミーティングを欠かさずに、それぞれの指導員がご家族様の相談に応えられるように個人理解を深めていく。 またご家族様から相談を受けた内容を記録として保管し、指導員間で情報の共有に努め、どの職員が相談を受けても対応できるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいについての知識の不足。	様々な障がい特性の利用者がおり、事業所だけの様子では本人の特性を把握しきれないことが多い。 特に地域の小学校へ通所している利用者に関しては、家族様や学校への聴き取りを行い、深く見ないと本人の特性を知ることが難しい状態となっている。	今後は適宜、発達障害についての勉強会を行い、本人の持っている感覚や理解の偏りについて知り、支援に活かしていく。 状況に応じて学校や利用している他事業への聴き取りをし包括的な支援を行っていくようにする。
2	専門的な療育。	ご家族様からの要望にある感覚統合のような運動療法やSSTのような社会機能に関するプログラムは行っているが、深く理解し実践ができていない。	今後は適宜、発達障害についての勉強会を行い、本人の持っている感覚や理解の偏りについて知り、支援に活かしていく。 状況に応じて学校や利用している他事業への聴き取りをし支援の質の向上を図っていく。
3	高学年の児童が多いため、地域生活を優先することが多くなり、曜日によっては利用率の低下が見られる。	現在、利用している利用者や家族様からのニーズが「留守番が出来るようになってほしい。」「地域の友達と遊べるようになってほしい。」などに集中している。 そのため実際に年齢的なものや事業所を利用している中で生活面の自立や社会性の向上が見られ利用を失くなっていく利用者が多く見られている。	解決策としては学習支援やその他の社会での経験(外での買い物や社会見学)を強みとして打ち出し、どの年齢においても必要とされる事業所として付加価値をつけていくことだと考えている。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	4		見学してないのでわかりません。	随時連絡いただけましたら、ご見学対応させていただきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	13	3			支援員の適切な配置は勿論の事、各支援員の名札等に専門性を明記しています。
	3 事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせ、適切に配慮がなされているか	12	4			
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、個別支援計画※1が作成されているか？	15	1			各保護者様に聞き取りを行い、一人1人に沿った個別支援計画を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	3			5領域に基づきながらプログラムを考案しています。また固定化しないように定期的に会議を行いプログラム構成をしています。
保護者への説明等	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	2			利用時の伝票への記載及び送迎時に日々の様子を細かく伝えていきます。利用者負担等に関しては見学の際に説明させて頂いています。また疑問等の問い合わせを随時受け付けています。
	7 日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	14	2			
	8 保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	13	3			
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	3			当法人のホームページにおいて情報公開しています。
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	3			
	11 定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	4			毎月チラシを配布し、プログラムの予定を配布しています。またホームページにて自己評価の結果を開示しています。
	12 個人情報に十分注意しているか	13	3			
非常時等の対応	13 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	8	8			各マニュアルを室内に掲示すると共に感染症対応グッズを車に常備しています。また、送迎時などに保護者様に周知していくように声かけをしていきます。
	14 非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他必要な訓練*4が行われているか	11	4	1		事業所内で避難訓練を行っています。避難経路・場所の確認もしています。
満足度	15 子どもは通所を楽しみにしているか	13	3		はなまる頂きました。	今後も「楽しかった」と思う事業所になるよう支援させていただきます
	16 事業所の支援に満足しているか	15	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			決められた人数の配置を行い1人ひとりに適切な支援が行えるようにしています。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			ご指摘やご感想をいただいた点を参考にし、できる限り家族様の意見にも寄り添いながら活動しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			HP上にて、結果内容の開示をおこなっています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			各研修に加え、月1回全体研修や勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上を努めています。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
適切 な	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングを行い、利用者の変化や気付き、周知伝達を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
支援の提供	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			提供記録や業務日誌を毎日記載し記録しています。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4		利用者が小学生までしかいない為、就労移行や情報提供や引継ぎを行うことがありません。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4		今後取り入れていけるように検討しています。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4				
保護者	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に細かく説明しています。ご質問があれば的確に答えられるように努めています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			面談の希望や、電話での相談があれば、その都度対応させていただきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
への説明責任等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			チラシ・健康だより等を発行し、保護者様へ配布している。
	32	個人情報に十分注意しているか	4			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		保護者の方への周知は不十分かもしれない。今後は保護者にも細かく説明していきます。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			月に1度、避難訓練を行っています。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待・感染症・身体拘束の担当者を選出し、定期的に職員全体での研修会を行っています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			4	必要な場合は、家族様に説明及び了解を得る手順を行うが、現在それらが必要な利用者が在籍していません。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4			出来事を記録し、職員間で共有して改善策を考え、再発防止に努めています。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら大海		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年2月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の将来進路選択に向けて、様々な体験プログラムを準備している。	学習状況や実習先などの情報をもとに、個々に合った体験プログラムを提供している	より将来進路選択の一助となれるよう、家族様との連携をすすめていく。
2	余暇時間に使用するゲームや本などが準備されている。	自宅でも使用できるものではなく、アナログゲーム等家庭ではあまり体験しなと考えられる物を準備している。	整理整頓を子ども達と行う中で、物を大切に使用する習慣を得てもらえるよう取り組んでいく。
3	メリハリのある時間割を提供している。	頑張る時間とリラックスする時間を分かりやすく提示している	今後も継続してメリハリのある活動時間とプログラムを提供していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援学校に通学している子どもと地域の学校に通学している子どもが一緒に利用している為、同じ体験を一緒にする事が難しい。	同じプログラムでも幅広い取り組み工程を準備する必要があり、一緒に同じ体験を積むことは難しい。	子ども達がどこからでも楽しくプログラムに参加できる様取り組み工程などを引き続き複数準備することで、子ども達が楽しく参加できるよう努めていく。
2	子ども達が自分で考え行動できるよう取り組んでいるか考える事がある。	時間を気にしすぎて、子ども達が自ら考え行動する機会を少なくしていないか振り返る事がある。	改めて子ども達は自ら考えて行動できるよう、時間に余裕をもって支援にあたっていく。
3			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	4		現地を見たことがなくどのぐらいのスペースで活動しているのかわからない。また日々何名のスタッフで対応してくれているのかわからない。子どもから「困った」というのを聞かないので、信用して預けさせてもらっている。 活動スペースを見たことが無いので、よく分からない。	指導員の配置数は、配置基準ののって行い、日々の支援にあたっております。 大海の見学・面談等ご希望ありましたら、お申し出ください。 随時日時調整をさせていただきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	13	6			
	3 事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせ、適切に配慮がなされているか	17	2			
適切な 支援 の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、個別支援計画※1が作成されているか？	19			いつも楽しく参加させていただいているみたいです。「楽しかった」とよく聞きます。	ありがとうございます。 今後も楽しく様々な体験をしていただけるよう取り組んでまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	2			
保護者 への 説明 等	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	3		毎月のプログラムを発信してもらい、学習支援やおやつ作り・サイエンス等色々な事にチャレンジさせていただいていることがよくわかります。色々な体験を通じて楽しく過ごしている様子が本当に感謝しています。 スタッフさんによっては何の説明もなく送ってきてくださる方もいる。伝票に当日の様子が書かれているので良いのですが。 苦情を出したことは無い。 私からの苦情はないが、他の家族さんからの苦情に対してどのように対応したのか情報公開してほしい。 支援内容や変更事項などの説明が丁寧でわかりやすいです。 個別の連絡ノートなどがあると良いと思う	送りの際の申し送りに関しては、改めて丁寧に行うよう周知いたします。 頂いた苦情やご要望に対しては迅速に説明などの対応をさせていただいております。また当法人のホームページに記載させて頂いております。 今後ともわかりやすい説明を心掛けてまいります。 連絡ノートに関しましては、ご準備していただければ対応させていただきます。
	7 日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	17	2			
	8 保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	15	4			
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	6			
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	3	1		
	11 定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	2			
	12 個人情報に十分注意しているか	18	1			
非常時 等の 対応	13 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	15	4		母だけでなく、その他の連絡先の確認はできているのか不安。	緊急連絡先に関しましては利用契約時に把握させていただいております。電話番号や連絡方法の変更がありましたら随時連絡いただければと思います。
	14 非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他必要な訓練*4が行われているか	14	5			
満足 度	15 子どもは通所を楽しみにしているか	19			支援に不満を持っているわけでもなく事情も分かってはいるが、送迎に関してはもう少し柔軟に対応してほしいと思う。 休みに関しては、固定日以外も利用できればもっと良い。	ご相談いただければできる限りの対応を調整させていただきますが、常に希望に添えることはできませんのでご理解いただければと思います。 利用希望日がありましたらご相談いただければと思います。まずはご連絡いただきたいと思っています。
	16 事業所の支援に満足しているか	19				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			活動室や食堂・静養室など、活動内容に合わせた部屋を準備しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			配置基準にのっとりた人員配置を通して個々に合った支援に努めています。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
適切な	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングの時間を設けており、日々の確認等をしています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			支援終了後に振り返りの時間を設定しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
支援 の 提 供	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			日々の業務日誌で記録を行っています。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			相談支援専門員と連携をとりながら、定期的にモニタリングを行い、計画の変更を行っています。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	中高生が利用の為、学校・保護者様・関係機関との間で情報共有と相互理解に努めています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	今後状況を判断し、実施を検討して行きます。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			担当者が参加しています。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			ケースに応じた対応を行っています。	
保 護 者	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
への説明責任等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			チラシなどを発行し、保護者様へ配布しています。
	32	個人情報に十分注意しているか	4			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			策定しているが、今後周知方法などを検討します。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年3回避難訓練を行っています。「ナラ・シェイクアウト」にも法人として参加しています。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			いかなる場合においても身体拘束を行っていない。必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に説明し了解を得た上で、支援計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4		アレルギー診断を受けた場合や服薬があった場合には、指示書をいただき、事業所内で対応しています。
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4			発生事案を記録すると共に職員間で情報共有を行い、改善策を考え、再発防止に努めています。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら大河		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年2月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月14 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫を凝らしている。	指導員同士で協議を重ね、ご利用者の個性や課題に応じたプログラムを作成している。	ご利用者の成長を促進するために、プログラム実施時の状況を記録し、それを基に應用プログラムを作成する。
2	日常的に、ご利用者様の状況について保護者様と連携を図り、課題や現状に関する共通の理解を持っている。	毎朝行っているミーティングで、昨日の出来事やご利用者様の様子、保護者様からの送迎時に聞いたお話、学校の先生からの引継ぎについて話し合い、情報を共有している。	引き続き毎朝のミーティングを行い、情報を共有することはもちろん、支援中に気づいた小さな事柄も職員間で共有し、共通の理解を持つ。
3	ご利用者や保護者様とのコミュニケーションや情報の伝達に配慮を行っている。	ご利用者様にはそれぞれに適したコミュニケーション手段を用いて接し、保護者様には送迎時でのお話やお電話等を通じて、一日の活動内容や変化について詳細に報告するよう努めている。	ご利用者様に適したコミュニケーション手段を引き続き実施し、効果的であった取り組みについては保護者様にも報告し、持続的な支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時の対応、防犯対策、感染症対策などに関する各種マニュアルの周知を図る。	事業所の職員はマニュアルを理解し周知しているが、保護者様への情報提供が不十分である。	職員に加え、保護者の皆様にも各マニュアルの周知を図っていく。
2	定期的実施している避難訓練についての周知を行う。	避難訓練は年に2回から3回実施しており、保護者様には送迎時にその旨をお伝えしているが、周知が不十分であると考えられる。	避難訓練を実施した際には、送迎時に情報を伝えるだけでなく、毎月配布しているチラシなどを通じて取り組みや方法についても周知する。
3	保護者様に対して支援に関する多くの助言を行う。	職員全員が共通の意識を持ち、保護者に寄り添いながら、子どもたちの課題や現状に関する助言を行う能力が不足している。	ご利用者の変化に気づいた際には、職員全体で情報を共有することはもちろん、保護者様にもその内容をお伝えする際に、単に伝えるだけでなく、具体的な支援方法についても説明する。



	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1		実際の現状や活動の様子を詳しくは見れていない。	ご連絡頂けましたら、随時ご見学の対応をさせていただきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	14	1			規定に沿った人数の配置を行っています。ご不明な点がありましたら、ご連絡をいただけましたら個別に対応させていただきます。
	3 事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせ、適切に配慮がなされているか	14	1			ご連絡頂けましたら、随時ご見学の対応をさせていただきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、連携を取った上で、 <u>個別支援計画*1</u> が作成されているか	14	1			
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	15				
保護者 への 説明等	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				
	7 日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				
	8 保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	13	1	1		
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2		苦情への対応や、体制整備についての情報を公開してほしい。	当法人のホームページにおいて情報公開をさせて頂いております。
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				
	11 定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	3			毎月チラシを配布し、プログラムの予定等をお伝えさせていただいています。また、ホームページにて自己評価の結果の開示を行っています。
	12 個人情報に十分注意しているか	14	1			個人情報の管理に関しては、規定に沿って厳重に行っています。
非常時 等の 対応	13 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	9	6		マニュアルがあるのが分からない。	各種マニュアルを策定し、事業所内に掲示しています。
	14 非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他必要な訓練*4が行われているか	10	5		避難訓練等が行われているのか分からない。 ・緊急連絡先等の定期的な確認を行っていますか。	年に2回避難訓練を行い、避難場所までの経路確認を利用者様と一緒にを行っています。また、保護者様への確認も定期的に行ってまいります。
満足度	15 子どもは通所を楽しみにしているか	13	2		とても楽しみにしています。	
	16 事業所の支援に満足しているか	15			いつもお話を聞いて下さって感謝しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしています。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			HP上にて、結果内容の開示をおこなっています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			各研修に加え、月1回全体研修や勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上を努めています。
適切な 支援 の 提 供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			常日頃から情報共有を行い、活動プログラムについての話し合い、考案しています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
適切な 支援 の 提 供	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングの時間を設けており、日々の確認等をしています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		長期休みで退勤時間が各々になってくると翌日に跨ぐことがありますが必ず行っています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
供	17 定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判 断しているか	4			
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っているか	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画しているか	4			
	20 学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			
	21 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている か	4			
	22 学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等しているか	4			
	23 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けているか	4			
	24 放課後児童クラブや児童館との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある か		4		深く交流はないが、送迎時に意見の交換等を行ってい る。
	25 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加しているか	4			担当の者が参加している
	26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っているか	4			
27 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っているか	4				
保 護 者	28 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	4			
	29 保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っているか	4			

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
者 へ の 説 明 責 任 等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	32	個人情報に十分注意しているか	4			関係者のみ閲覧できる場所に保管し、漏洩することのないように管理しています。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
非 常 時 等 の 対 応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		マニュアルはすべて策定している。職員や保護者様には周知しているが保護者様には再度する必要があると思われます。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			どのような場合においても身体拘束は行っていないが、必要であると判断された場合は、保護者に十分に説明し、了解を得てからサービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4			事案があった時には、明確に記録できるように、その日のうちに作成しています。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら・はやぶさ		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 17 日		～ 令和 7 年 2 月 12 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 17 日		～ 令和 7 年 2 月 12 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 14 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習室と活動スペースが別があり、学校の宿題や、個別課題に落ち着いて取り組むことができる。	利用者個々に出ている宿題の内容や理解度・難易度を可視化をして、職員全員が把握できるようにしている。学習支援プログラムの曜日では、利用者個々の学習進捗度合いに沿った教材を提供するようにしている。	可視化された内容を活用して、苦手な教科の強化や得意とする分野を伸ばしていく課題を提供していく。また長期休みでは、前学期の振り返りと復習や、少し先の学習などを取り入れて、新学期への不安を取り除いていく支援をしていく。
2	ソーシャルスキルトレーニングをすることで、社会生活(学校生活)や対人関係など、状況に応じた適切な行動がとれるようになる。	身近なものや駄洒落などを使ったソーシャルスキルモニターカードを活用して、子供達が楽しく学べるように工夫をしている。また一回限りにならないように、1年を通して関連性を持たせたソーシャルスキルのプログラムの内容にしている。	常に職員間で、いまの利用者にはどのスキルが必要なのか、また上手く使うにはどうしたらいいのかを、話し合い実施・振り返りを通してどんなスキルが必要かを考えていく。また指導者ごとにアプローチの仕方なども変えるなどの様々な支援を実施していく。
3	活動プログラムが固定化しないように、各プログラムごとにリーダーを決め、利用者の興味をひき楽しく経験や学びに繋がるとの取り組みをしている。	利用者の興味や関心(アニメ・ゲーム)を取り入れたプログラム活動をしている。また利用者発信の意見も取り入れながら、主体性を尊重した活動を心掛けている。	ガイドラインの領域に基づいた支援を、計画的に取り入れて幅広い経験や深い学びの支援ができるようにしていく。他事業所の活動なども参考にしながら、より楽しく取り組める教材やプログラムを作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが少し狭く感じるとの意見がある。	プログラムの内容(利用者全員が動くようなもの)によっては、一人一人の活動スペースが少なく、全体に狭く感じる。	順番に動くなどのプログラムの内容を工夫をする。
2	屋外での活動が出来るとういとの意見がある。	平日は支援時間や安全面を考慮すると難しい。	長期休みを利用して、お花見や公園での水遊び等の外遊びの機会を増やしていく。
3	家族様と面談や相談に必要に応じて助言や提案をしているが、十分ではないとの意見がある。	日々の送迎時では、その日の様子や短い会話をするだけで、対話時間が短く、個別での相談事などの話をするのが難しい。	対面での面談だけでなく、電話での面談や相談を家族様に提案していく。また、送迎時の短い時間の中でもコミュニケーションをとり、いつでも話しやすい関係を構築していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2	0	もう少し広くてのびのび動けるスペースがあれば喜びます。 屋外でも遊べる場所があればいいと思う。	部屋の広さに関しましては規定に沿った広さになっております。楽しくからだを動かせるプログラムを取り入れていきたいと思えます。
	2 職員の配置数は適切であるか	14	0	0		
	3 事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせ、適切に配慮がなされているか	13	1	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、連携を取った上で、 <u>個別支援計画*1</u> が作成されているか	14	0	0		
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	14	0	0		
保護者 への 説明 等	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0		
	7 日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0		
	8 保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	14	0	0		
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1	0		当法人のホームページにおいて情報公開をさせて頂いております。
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0		
	11 定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	0		
非常 時 等 の 対 応	12 個人情報に十分注意しているか	14	0	0		
	13 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	14	0	0		
満 足 度	14 非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他必要な訓練*4が行われているか	14	0	0		
	15 子どもは通所を楽しみにしているか	11	3	0	遊びたいのが勝つのか、行くのをしぶる時がある。	興味をもってもらえる様々なプログラムに取り組んでいきたいと思えます。
	16 事業所の支援に満足しているか	14	0	0		

従業員向け 放課後等デイサービス評価表

ファミリーサポートかしはら はやぶさ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	4			決められた人数の配置を行い1人ひとりに適切な支援が行えるようにしています。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			HP上にて、結果内容の開示をおこなっています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			各研修に加え、月1回全体研修や勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上を努めています。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			テーマ事に話し合いを行っています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			利用者の発想や希望も取り入れてます。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
適切な 支援の	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングを行い、利用者の変化や気付き、周知伝達を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			提供記録や業務日誌を毎日記載し記録しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
提供	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			お迎え時に変更や様子などを聞いています。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			移行支援として、各事業所と情報共有を行い、家族様からも聞き取りなどを行っています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4		利用者が小学生までしかいない為、就労移行や情報提供や引継ぎを行うことがありません。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4		今後取り入れていけるように検討しています。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に細かく説明しています。ご質問があれば的確に答えられるように努めています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			面談の希望や、電話での相談があれば、その都度対応させていただきます。



		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
保護者への説明責任等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			チラシ・健康だより等を発行し、保護者様へ配布しています。
	32	個人情報に十分注意しているか	4			関係者のみ閲覧できる場所に保管し、漏洩することのないように管理しています。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			マニュアル策定はしています。職員へ保護者様に周知しているが保護者様には再度する必要があります。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			月に1度、避難訓練を行っています。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待・感染症・身体拘束の担当者を選出し、定期的に職員全体での研修会を行っています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		4		身体拘束を行わないので、放課後等デイサービス計画に記載することがありません。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			アレルギー診断を受けた場合や服薬があった場合には、指示書をいただき、事業所内で対応しています。
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4			出来事を記録し、職員間で共有して改善策を考え、再発防止に努めています。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートかしはら りゅうぐう		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 17 日		～ 令和 7 年 2 月 12 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 17 日		～ 令和 7 年 2 月 12 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 14 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	文章の読み書きや計算問題などの学習プリントや暗唱の学習支援を中心に取り組み、学校の宿題もサポートしている。また、楽しみながら学ぶことで「できた」や「もっとやりたい」の気持ちを増やせるようサポートを行っている。	文章の音読・朗読を行うことで、「語彙力・読解力」「集中力を高める」「コミュニケーション能力」が身につくため繰り返し行っている。また、計算を声に出して行うことで、楽しみながら、自然と暗記できるように繋げている。	現在はグループで意見を出し合い、思考力・判断力・表現力をつけているが、繰り返し行いながらグループの人数を減らしていき、一人一人が力を発揮できるように繋げていく。
2	「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」を活用することで自分の行動を理解し、気持ちや情動の調整ができた、個別や集団で、相手の気持ちをゆっくり考えてみたり、実際に試してみることでスキルを身に付けるプログラムも実施している。	子どもたちが様々なシーンの演劇を行い、みんなでその時の対応法の意見を出し合い、良い方法を考えている。また、一つの言葉を例に挙げ、その言葉に対してどのように思ったかを、一人一人が1～5の数字で嫌な度合い表現し、人によって言葉のとらえ方や、考え方に違いがあることが学べるようにしている。	継続して「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」を取り組み、体験的な経験を多く積んでいくことで、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすることを大きな目標としていく。
3	異年齢の子どもたちが交流するため、身体活動などの様々なプログラムを通して、それぞれが役割を担い、集団全体で活動し協働して取り組むことができるようになり、社会性が身に付いていく支援をしている。	主体的に取り組めるプログラムを通して、子ども自身でグループのリーダーになるなどの役割分担を行う活動を取り入れ、協働する場面を多く作っている。また、喜びをみんなで分かち合えるよう、振り返りの時間も作るようにしている。	協働でのプログラムを通して、「自己有用感」「社会性」が身に付くことを目標としている。そのためには、今まで以上に一人一人が考え、意見を出し合い対話ができる場面を取り入れていき、達成感や喜びを分かち合える体験に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	乱暴な言葉を発してしまうことや、乱暴な行動をしてしまう子どもたちの様子が見られること。	聞いたことがある汚い言葉を意味を分からず発していたり、周りの反応が面白かったら、繰り返しいけない行動を取っていると思われる。	集団活動やソーシャルスキルトレーニングなどのプログラムを通して、適切な言葉のかけ方や行動が習得できるよう支援していく。また、いけない発言や行動が見られた時には、その都度なぜいけないのかを伝えていく。
2	プログラムでの発言の間違えや失敗を恐れてしまい、消極的な姿が見られること。	周りの目が気になり、発言して間違ってしまうことを恐れていた、プログラムへの参加をやめる姿が見られると考えられる。	安心できる環境や関係性の中で、様々な経験を通して成功体験を積みながら、自信につながるようにする。また、褒められる経験や達成感を通して、自己肯定感を育てていけるように支援する。
3	スピードを気にするあまりに、落ち着いて字を書くことが出来ず、字が汚くなってしまふこと。	宿題や課題を終わらせて早く遊びたいと言う気持ちが強く出てしまい、落ち着かず字を書いてしまっている。	字の模写をするプログラムを取り入れており、自然と字がきれいに書くことができるようにつなげていきたいと考えている。また、集中力が持続できる時間を伸ばすために、読書タイムを作るなどの取り組みを行っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3			希望に応じまして見学、面談を行っております。 ご連絡頂ければ対応させていただきます。 職員の配置につきましては、ガイドラインに沿って適切な配置をしています。また、ご利用者様の状況に応じて配置させていただけてます。
	2 職員の配置数は適切であるか	10	4			
	3 事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせ、適切に配慮がなされているか	10	4			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、連携を取った上で、個別支援計画*1が作成されているか	14				5領域に基づきながらプログラムを考案しています。また固定化しないように定期的に会議を行いプログラム構成をしています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	1	1		
保護者 への 説明 等	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1			利用時の伝票への記載及び送迎時に日々の様子を細かく伝えていきます。 利用者負担等に関しては契約時に説明の方させていただきます。また疑問等を随時受け付けています。
	7 日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	2			日々の様子に関しましては送迎時などにお話しさせていただきます。
	8 保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	12	2			
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3			当法人のホームページにおいて情報公開をさせて頂いております。
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1			
	11 定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3			毎月チラシを配布し、プログラムの予定等をお伝えさせていただいています。 また、ホームページにて自己評価の結果の開示を行っています。
	12 個人情報に十分注意しているか	14				
非常時 等の 対応	13 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	11	3		・いつも楽しそうに通っています。外出やビデオ、料理などイベントをしてくれるのをごく助かっています。 ・いつもありがとうございます。	各種マニュアルを策定し、事業所内に掲示しています。
	14 非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他必要な訓練*4が行われているか	10	4			事業所内で避難訓練を行っています。避難経路・場所の確認もしています。
満足 度	15 子どもは通所を楽しみにしているか	12	2			興味をもってもらえる様々なプログラムに取り組んでいきたいと思っています。
	16 事業所の支援に満足しているか	14				
ご 意 見 の 見 他	子どもからの話だけでまだ、設備等見たことがないため、十分に答えることができません。いつもお世話になり、子どもも楽しみにしています。					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2 職員の配置数は適切であるか	4			決められた人数の配置を行い1人ひとりに適切な支援が行えるようにしています。
	3 事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			職員同士での会話（コミュニケーション）を多く取り、その日の振り返りや情報共有を行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			HP上にて、結果内容の開示をおこなっています。
	7 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			各研修に加え、月1回全体研修や勉強会を実施し、知識及び支援技術の向上努めています。
適切な支援の提供	8 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	9 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	10 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	11 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	12 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
適切な支援の提供	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝ミーティングを行い、利用者の変化や気付き、周知伝達を行っています。
	15 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			
	16 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			提供記録や業務日誌を毎日記載し記録しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判 断しているか	4			
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っているか	4			
関係機 関や保 護者 との連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画しているか	4			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている か	4			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等しているか		4		利用者が小学生までしかいない為、 就労移行や情報提供や引継ぎを行う ことがない。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けているか	4			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある か		4		今後取り入れていけるように検討して います。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加しているか	4			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っているか	4			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っているか	4			
保 護 者	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	4			契約時に細かく説明しています。 ご質問があれば的確に答えられるよ うに努めています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っているか	4			面談の希望や、電話での相談があれ ば、その都度対応させていただきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
への説明責任等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			チラシ・健康だより等を発行し、保護者様へ配布している。
	32	個人情報に十分注意しているか	4			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		事業所内でマニュアルを保管をしているが、家族様には全て周知できている状況ではありません。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			月に1度、避難訓練を行っている。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待・感染症・身体拘束の担当者を選出し、定期的に職員全体での研修会を行っています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			4	いかなる場合においても身体拘束は行っていない。必要がある場合は、組織的に決定し、保護者様に十分に説明、同意を得た後サービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4			出来事を記録し、職員間で共有して改善策を考え、再発防止に努めている。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 やまと福祉事業団 ファミリーサポートせいわ大地		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年2月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年 2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2 月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学部から高等部まで、幅広い年齢の利用者が多い。様々な学年の利用者がいることで集団生活の中で互いに、学び合う機会が多く持てる。集団生活の中で、社会的スキルを身に付ける機会の充実を図ることが期待される。	・事業所のプログラムにおいて、児童発達・放課後等デイサービスにおける5領域に基づき、集団プログラム・個別プログラムに取り組んでいる。様々な経験ができる場となるように、5領域を軸に多様なプログラムに取り組んでいる。	・事業所を利用し、より経験を積み重ねていく場となるように、5領域を軸に、より充実したプログラムづくりのため、情報収集、支援者のスキルアップを図っていく。
2	プログラムが固定化しないように、情報収集し、工夫をしている。設備として、体育館や大型プールがある。のびのびと体を動かす場があることで、利用者にとって、様々な視点からアプローチできる感覚統合のプログラムが取り入れることができ、次に成長につながる支援ができる。	・日々の積み重ねを意識し、成功体験の場として事業所がなるように取り組んでいる。本人のペースに寄り添いながら、「できた喜び」を共有できるよう、支援にあたっている。	情報収集を基本に充実を図るが、様々な業種の支援者も在任していることから、意見交換など行い、充実を図る。その時々で求められているニーズをキャッチし、プログラムに取り入れよう努める。
3	保護者・学校・事業所との連携が取れる体制がある。養護学校の利用者が多い事もあり、情報共有しやすく、一貫性を持って支援にあたることができる。	・送迎時などに、聞き取りを行ったり、希望に応じて、面談を行ったりしている。	・利用者の成長に伴い変化するニーズや課題に、柔軟に対応できるように、職員のスリルアップに努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・部屋数が多いが、事業所内に死角が多い。各部屋を、全体的に見渡すことができない。	・部屋数が多いのは、利点であるが、建物の構造上、部屋が細分化されているため、死角が来ている。	・各部屋に必ず、支援者一人を配置している。また、カメラも設置し、より安全な場となるように環境を整えていく。
2	・トイレの数が少ない。体育館にトイレがなく、移動に不便がある。	・定期的にトイレへの声かけを行うが、タイミングが重なり、トイレ前が混雑することがある。	・混雑をしないように、声かけの順々に行う、スムーズになるように努める。順番を工夫して、混雑回避に努める
3	・保護者様に、事業所の設備・環境等が十分に伝わっていない。	・情報の周知が出来ておらず、伝わりきれていない。	・希望に応じて、見学や面談を行い周知にあたる。また、保護者にとって分かり易い伝わり方を検討していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	3	0	契約時以降直接見たわけではないので分からない。(10年以上施設に入っていないので)中の様子が分からない。見たことがないので分からない。見れる日。参観日のような日を作ってほしい。	希望に応じまして見学、面談を行っております。ご連絡頂ければ対応させていただきます。職員の配置につきましては、ガイドラインに沿って適切な配置をしています。また、ご利用者の状況に応じて配置させていただいています。部屋の広さに関しましても規定に沿っております。
	2 職員の配置数は適切であるか	12	3	0	どれくらいの人数が利用していて、どれくらいのスタッフがいるのか分からない。室内に入ったことがないのでどちらとも言えないにしましたが、体育館は綺麗で広く良い所だと思います。	
	3 事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせて、適切に配慮がなされているか	10	7	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、連携を取った上で、個別支援計画*1が作成されているか	16	1	0	個別支援計画は立ててもそれがいかにして支援出来ているか分からない。色々なゲーム、遊び、運動を取り入れて下さるのでありがたいです	個別支援計画作成後の、進捗状況や見直しなど、保護者様と情報共有できるよう、保護者様への説明の徹底を職員間で再確認させていただきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	3	0		
保護者 への 説明 等	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	3	0	支援者によって送迎時の説明内容に差があるので紙面では分からない。書かれていない説明も補足してほしい。	送迎時の保護者様への説明につきまして、具体性を持って伝えるよう、職員に対して、再度徹底していきます。また、より中の様子が分かるように、プライバシーに留意し発信出来るよう検討していきます。苦情等につきまして、苦情相談窓口を設けて頂いています。また当法人ホームページにおいて情報公開させて頂いています。チラシにつきまして、ご不便おかけ致します。配布方法について再度徹底して参ります。
	7 日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達状況や課題について共通理解ができてきているか	15	2	0	苦情の内容、対処等の報告があるとなお良い。毎月の活動内容のチラシが入っている時と入っていない月があり、入っていないことのほうが多いです。	
	8 保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	16	1	0	子どものちょっとしたことでも聞いてくださったり、色々と考えて協力してくださるので助かります。	
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	3	0		
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1	0		
	11 定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	3	0		
	12 個人情報に十分注意しているか	16	1	0		
非常時 等の 対応	13 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	6	7	1	マニュアルがあると思うが分からない。密になっていないか特に、感染症対策には気付かわれているかは気になる。	各マニュアルを事業所内に掲示しています。また、感染症対策グッズを車内にも常備しています。年2回、避難訓練を実施しています。また、昨今の状況を踏まえ、防災学習等も進めて参ります。
	14 非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他必要な訓練*4が行われているか	8	6	0		
満足 度	15 子どもは通所を楽しみにしているか	12	3	0	よく分からない。年齢層も小さい子が多くなると、どうなっているのかと不安もある。	昨今、小学低学年のご利用者様も増えてきています。子供たちも安心して楽しく過ごせるように部屋を分けたりしながら対応しています。保護者様の不安なく、安心してご利用できるよう努めて参ります。
	16 事業所の支援に満足しているか	13	2	0		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			食堂・プレイルーム・リラックスルームなど内容に応じて部屋を設けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしています。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	5			危険と思うところには緩衝材付けるなどしている。利用者様の行動によっては、見直しが必要な箇所があればその都度改善しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			年1回アンケートを実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所のチラシやホームページ等で公開しているか	5			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			随時、本人に必要な研修に参加しています。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			様々なツールを使って情報収集し、職員間で案を出し合い決めています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			活動やおやつなど新しい物を取り入れながらマンネリ化しないようにしています。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			
適切 な	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			その日の子どもたちの様子や保護者様の意見など、情報を共有し、振り返っている。時間がない時は、連絡ノートに記入し共有しています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
な 支 援 の 提 供	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			当法人の児童発達支援センターとは連携を取っているが、それ以外は、保護者様からの聞き取りが多い。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			当法人内であれば、密に行えるが、他事業所になると情報提供できていないのが現状であります。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5		状況によって、機会やタイミングがあれば参加はするが、現時点ではそのような機会がないのが現状です。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			代表者が、必要に応じて参加しています。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時を中心に状況を伝えることに心がけている。また、希望に応じて、面談に対応しています。
27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5			ペアレントトレーニングまでは至っていないが、保護者様からの悩み・困りごとは共有するように心がけています。	
保 護 者	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			相談を受け、職員で考えるべきことは職員全体で取り扱い対応しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
への説明責任等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			貴重なご意見を参考にし、事業所内での状況も踏まえて、できる限りご希望に添えるように対応しています。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			
	32	個人情報に十分注意しているか	5			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			定期的に避難訓練を行っています。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待・感染症・身体拘束の担当者を選出し、定期的に職員全体での研修会を行っています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			いかなる場合においても身体拘束は行っていない。必要がある場合は、組織的に決定し、保護者様に十分に説明、同意を得た後サービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	5			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートせいわ 大地の森		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 2月12 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援に特化したプログラム	・障がい者支援の専門性を生かし、保護者への説明や相談、日ごろの支援中の利用者の様子や些細な変化を見逃さず、支援者及び保護者との共通理解を図るように意識している。	今後、さらに学習支援への参加者の増加や要望が高まっていくと予想される為、状況に併せて学校への聴き取りを行い本人の強みを伸ばす、苦手を克服する、個別学習の機会を促していく。
2	プログラムの充実	・学習指導要領の内容に留意し、各学年の目的やねらいに沿ったプログラム内容の提供 ・体験的活動の充実 ・利用者へ自己選択の多様性を提示し、やらない・やりたくないから、○○だったらやってみてもいいかなという選択の提示	・プログラム中での段階的支援方法を考える。プログラムや活動について、利用者の特性や強みや弱みを見極め、支援の量を増やしたり、段階的に減らしたりする。
3	・定期的な戸外活動を取り入れている。	・定期的に戸外活動を取り入れることにより、周囲を意識した関わりができるようにしている。また、自然と触れ合うことで多様性を養ったり、普段の見えないストレス軽減を目的とする。	・様々なイベントを企画し、より楽しみながら成長していける機会を作っていく。戸外活動だけでなく、室内活動においてもより充実できるような内容作りにも努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・日々の支援内容や活動の様子など見える化できていない部分がある。	・事業所内の支援内容や活動の様子について口頭で伝えたり、チラシ内での写真掲示を行っているが、きめ細かく伝わっているかどうかは不安点である。	・面談時などにおいて、事業所内での様子を写真を見ながら伝えていく。必要であればフォトブックなどを作成しお渡しすることも検討していく。
2	アンケートでの、見たことがないやわからない、知らない等の回答の存在	・参観日等の設定の困難さ ・口頭だけでの活動の様子などの説明不足	・お便り等で職員や、支援員の紹介を行うなど、誰が支援に入っているのかを明確に、さらに親しみやすい自己紹介などの提示をする必要がある。 ・視覚的に活動場所を提示できるように、活動写真を配信できるようにする必要がある。
3	非常時の対応や防災訓練・防災教育の周知の低さ	・防災に関するプログラムの曜日固定が周知の低さの要因	・月ごとの曜日の固定をやめる ・水曜日や金曜日など、屋外プログラムを行っているのだから体験的なプログラムの提供ができる ・学習支援の中でのタブレットをつかった防災教育の試行

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	1	0	空白（未回答）は見えていないのでわからないので記入できない 見たことがないためどちらともいえない 学習支援ですし、そこまで特性があるわけでもないので分かりませんが、やりたいこと、やらなければならないことの、支援をしていただいていると思います	個別面談等で施設内見学や人員配置の説明などしていきたい と思います。 配置人数に関しましては規定に基づき、適切な人員配置を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	17	6	0	昨年の方が職員の方が多かったと思うので、職員の方が今年の方が忙しそうに感じました。	
	3	事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせ、適切に配慮がなされているか	20	3	0	特に大型の休みなど、子どもの数に対して先生が大変そうなので、先生方の負担が大きくないか心配しています	
切な 支援 の 提	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、連携を取った上で、個別支援計画*1が作成されているか	21	1	1	季節ごとの行事も取り入れられて幅広い活動プログラムだと思います いつも楽しいプログラムで子どもが楽しんでます	今後も楽しむ・考える・挑戦する・獲得するプログラムを提供していければと思います。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22	2	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	3	1	丁寧な説明なので活動時の様子が頭に浮かびます トラブルを起した時は、原因→結果と本人の状況の説明があり、家でゆっくりと本人に問いかけ、聞き出してみようとしています 家庭での対応に迷いや悩みがあるときは相談すると真正面から向き合い聞いてくださるので、また次へと進める今です。	支援記録にはその日の活動記録を記載しています。重要な事項(怪我の様子・発熱の様子など)等に関しては記載させていただきます。個別の細かなあらわれや様子については、送迎時にお伝えできればと思います。普段の様子や、支援についての相談や説明などは今後、個別の面談を通してお伝えしていきます。重要性の高い事象などについては、電話での連絡・説明等の対応をしていきます。 活動写真の配信については、発信ができるよう検討中です。
	7	日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	2	活動時の写真を発信していただけると嬉しいです 支援記録にて何をしたのかは記入がありますが、その日参加した人みんな同じ文章なのではと思います。○○ゲームをしてどのような反応があったのかなど、具体的なことを知りたいです。○○ゲームをしましただけではよく分かりません	
	8	保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	20	2	2		
	9	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	5	0	特に苦情は聞いたりしたことが無いのでわかりません	
	10	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1	1		
	11	定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	2	1		
非 常 時 等 の 対 応	13	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	16	7	0	定期的に行われています 知らない為どちらともいえない	大地の森では防災教育に力を入れています。毎月のプログラムに防災訓練を取り入れています。プログラムの中で防災教育として防災について考える時間や、体験する時間を設けています。
	14	非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他必要な訓練*4が行われているか	17	7	0		
満 足 度	15	子どもは通所を楽しみにしているか	23	1	0	・事業所の支援には感謝しています ・ものつくりの時は帰宅後説明してくれます ・親子ともに満足ですいつもありがとうございます ・長期休暇での利用をしたいと言っています。利用時は楽しく過ごせているようです。 ・いつも楽しみにしていますし、行くのを嫌がったことは一度もありません ・急な通所の変更時にも柔軟に対応していただき申し訳ありませんとてもありがたく思っています ・子どもの変化にも気を掛けていただき親身に相談に乗っていただきありがたく思っています ・行くことに関して嫌など聞いたことがありません ・子どもに寄り添って話を聞いてくださったり、楽しいイベントを企画して下さったり、感謝しています。子供も通所を楽しみにしていて、心の支えになっていると思います ・昨年は公式ラインで活動の写真を送って下さっていたが、今年は見られなかったの、また再開してほしいです ・どの項目も実際の活動の様子を見ていないのでわからないが、しっかりしてくださっているだろうという思いです	さらに安全・安心を意識し子供たちに「たのしかった」と思える事業所を目標に頑張っていきたいと思います。
	16	事業所の支援に満足しているか	22	2	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		
	2	職員の配置数は適切であるか	4		決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしています。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	4		パーティションを立てたり、網を張ったりしています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		常日頃から情報共有を行い、活動プログラムについての話し合い、考案しています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		
適切な支援の	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		・必ず、支援開始前には打ち合わせを行い、支援内容や利用者について情報共有を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
提供	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	定期的に面談や聞き取りを行い、サービス計画の見直しを行っています。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	
関係機関 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	各学校の時間等が不確定や、変更等があるとき、必ず学校に連絡を入れて確認をとっています
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	移行支援として、各事業所と情報共有を行い、家族様からも聞き取りなどを行っています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	公園などに外出する機会を多く設定しています。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	
27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		
保護	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	電話で聞き取りをし、必要に応じて面談を設定しています

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
者への説明責任等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		
	32	個人情報に十分注意しているか	4		関係者のみ閲覧できる場所に保管し、漏洩することのないように管理しています。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		マニュアル策定はしている。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		毎月一回必ず防災教育を行っています
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		いかなる場合においても身体拘束を行っていない。必要性がある場合は組織的に決定し、保護者様に事前に説明し了解を得た上で、支援計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	4		何かあればすぐに記録に残しPC上での共有ファイルでいつでも閲覧書き込みできるようにしています



公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポート こおりやま 宇宙		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 集団生活への活動参加を通じて、コミュニケーションスキルの向上。	・ プログラムは固定化しないよう、各利用者の成長に合わせて社会性や協調性などのコミュニケーションスキルを養っていけるよう、意識しながら構成を行っている。	・ 必要に応じて利用者個々のフィードバックを行い、情報共有を通じて新たなプログラムや取り組みを考案していく。
2	・ 定期的な戸外活動を取り入れている。	・ 定期的に戸外活動を取り入れることにより、周囲を意識した関わりができるようにしている。また、自然と触れ合うことで多様性を養ったり、普段の見えないストレス軽減を目的とする。	・ 様々なイベントを企画し、より楽しみながら成長していける機会を作っていく。戸外活動だけでなく、室内活動においてもより充実できるような内容作りに努めていく。
3	・ 利用者に寄り添ったプログラムの実施。	・ 四季に応じたイベント、外出行事を取り入れている。また、自己肯定感や自主性を伸ばしていけるよう、本人がしたいことなど定期的に聞き取りプログラムに反映させている。	・ 自分で何かを作る楽しさ(制作・おやつ作り)や自分で考えて発信する喜びなどより主体性を発揮できるよう、多方面での更なるプログラムの充実化を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 低年齢化によるプログラム構成が難しい。	・ 低学年の利用者が増えたことにより、個々にあったプログラム構成が難しい。様々な年齢や成長・特性に合わせたプログラムの考案が必要となってきた。	・ その日の利用者の成長や特性を十分に理解し、できること・難しいことなど共有した上で、より細かなプログラム設定をしていながら方向性を決めていく。
2	・ 他事業所や保護者との連携不足。	・ 送迎の際、日々の様子を共有する場面はあるが、より密な面談などでの事業所と家庭との時間調整が上手く取りづらいのが現状である。また、業務時間的にも他事業所との情報交換の場も少ない。	・ あらゆる観点から密に連携をとることで今後の支援に活かしていけるよう、有意義な時間の過ごし方・保護者や他事業所との時間を優先的に作っていく。そのためには、業務の見直しやスケジュール確認など効率化を図りながら調整していく。
3	・ 日々の支援内容や活動の様子など見える化できていない部分がある。	・ 事業所内の支援内容や活動の様子について口頭で伝えたり、チラシ内での写真掲示を行っているが、きめ細かく伝わっているかどうかは不安点である。	・ 面談時などにおいて、事業所内での様子を写真を見ながら伝えていく。必要であればフォトブックなどを作成しお渡しすることも検討していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用のお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

児童発達支援

ファミリーサポートこおりやま そら

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望に応じて随時見学対応させていただきます。</li> <li>・規定に基づき、適切な人員配置を行っています。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保護者様より聞き取りを行い、一人一人に沿った支援計画作成に努めています。</li> <li>・5領域に基づきながらプログラムを考案しております。また、固定化しないよう定期的に利用者様よりしたいこと等のご要望にお応えし、プログラム構成も行ってあります。</li> </ul>
	6 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	2					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	8 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	9 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご希望があれば、事業所にて面談を行っております。保護者様と事業所間にて日程調整をさせて頂いております。</li> </ul>
	10 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	11 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	12 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1			1		
	13 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	14 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	15 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
16 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2						
非 常 時 等 の 対 応	17 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で月1回避難訓練を行っています。避難経路・場所の確認もしています。また、実施日を事前にチラシ上でお知らせをしています。</li> <li>・各対応マニュアルを居室内に掲示しております。また、各送迎車両において感染症対策の備品を常備しております。</li> </ul>
	18 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	19 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	20 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満 足 度	21 こどもは安心感をもって通所していますか。	2					<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も安心して通所できるよう、環境作りに努めていきます。</li> <li>・基本的には支援員が付きながら宿題を見ています。貴重な意見として周知していき、寄り添いながら支援に当たらせて頂きます。</li> </ul>
	22 こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				・宿題でわからないところがあれば聞いているが、わかる場所からやっているとわれ教えてもらえない時があると言っていた。	
	23 事業所の支援に満足していますか。	1	1				

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1			要望に応じて随時見学対応させていただきます。 規定に基づき、適切な人員配置を行っています。
	2 職員の配置数は適切であるか	13	3			
	3 事業所の設備等は、子どもの障害特性に合わせ、適切に配慮がなされているか	14	2			
適切な 支援 の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、個別支援計画※1が作成されているか？	16				各保護者様より聞き取りを行い、一人一人に沿った支援計画作成に努めています。  5領域に基づきながらプログラムを考案しており、また固定化しないよう定期的に利用者様よりしたいこと等のご要望にお応えし、プログラム構成も行ってまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16				
保護者 への 説明 等	6 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1			日々の事業所内での様子等を送迎の際にお伝えさせて頂いています。その際、少しでも変わったことがあれば引き続き情報共有を行いながら、支援に繋げていきます。この度は貴重なご意見ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。  ご希望があれば、事業所にて面談を行っております。保護者様と事業所間にて日程調整をさせて頂いております。
	7 日頃から子どもの状況等を保護者と連携を取り、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	16				
	8 保護者に対して送迎の際や電話、面談にて支援に関する助言が行われているか	15		1		
	9 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2		本人が何かやらかした細かく説明して下さりありがたいです。今後も何かしらかしたら報告して頂きますようお願いいたします。叱って頂いてOKです。いつもほんとにありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。	
	10 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14				
	11 定期的にチラシやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1			
	12 個人情報に十分注意しているか	15	1			
非常 時 等 の 対 応	13 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定されているか	13	1			事業所内で月1回避難訓練を行っています。避難経路・場所の確認もしています。 また、実施日を事前にチラシ上でお知らせをしています。 各対応マニュアルを居室内に掲示しております。また、各送迎車両において感染症対策の備品を常備しております。
	14 非常災害の発生に備え*3、定期的に避難、救出、その他必要な訓練*4が行われているか	13	1		よく分かりません。	
満足 度	15 子どもは通所を楽しみにしているか	12	3		通所について、行く前は渋りがちだが、行ったら「楽しかった！」と笑顔で帰宅しています。 宿題でわからないところがあれば質問する時があるが、教えてもらえない時があるようだ。	今後も「楽しかった」と思えるような事業所になれるよう、工夫をしていくと共に環境作りに努めていきます。 基本的には支援員が付きながら宿題を見ています。貴重な意見として周知していき、寄り添いながら支援に当たらせて頂きます。
	16 事業所の支援に満足しているか	14	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			
	2	職員の配置数は適切であるか	5			決められた人数の配置を行い、一人ひとりに適切な支援が行えるようにしています。
	3	事業所の設備等について、安全への配慮が適切になされているか	5			施設設備に不備や危険箇所等ないか、定期的に確認しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページ上にて、結果を公表しています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			
適切 な 支 援 の 提 供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			常日頃から情報共有を行い、活動プログラムについての話し合い、考案しています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			毎月のプログラムスケジュールを作成し、固定化しないようにしています。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
適切 な 支 援 の 提 供	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎朝のミーティングにおいて、支援内容・利用者の方について情報共有を行い、確認をしています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			当日の支援内容、利用者の方の様子について話し合い、振り返りの時間を設けています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的に面談や聞き取りを行い、サービス計画の見直しを行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5			
関係機 関や保 護者 との 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			お迎え時に利用者のご様子であったり、何かトラブルがあれば情報共有している。必要であれば、お電話で細かな支援方法であったりなど連絡を取り連携を図っています。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	現状、交流する機会がありません。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎の際に、その日のご様子や変わったことがあればお伝えしています。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5			お子様との関わり方や過ごし方など、相談があれば、随時対応させていただいています。
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時、わかりやすく丁寧な説明がなされている。また送迎時などにその日の出来事などを説明しています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			面談の实地、お電話でのご相談に対応している。その際、現状であったり、今後の支援についてお話をさせてもらっています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
保護者への説明責任等	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			入口に苦情箱を設置している。保護者より苦情やトラブルが発生した際、事実確認を行い迅速に対応しています。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			活動概要や予定がわかるよう、毎月チラシを配布しています。
	32	個人情報に十分注意しているか	5			個人支援記録など鍵付きのロッカーにて保管しています。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		5		マニュアル策定はしています。職員や保護者様には周知しているが保護者様には再度する必要があります。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			定期的に研修を行い、周知徹底をしています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			どのような場合においても身体拘束は行っていないが、必要であると判断された場合は、保護者に十分に説明し、了解を得てからサービス計画に記載します。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			保護者にアレルギーの有無を確認し、対応を行っています。
	39	ヒヤリハット事案を記録し、事業所内で共有しているか	5			事案発生時に記録を取り、情報共有をした上で再発防止に努めています。